

# 総合型地域スポーツクラブに関する 文献調査結果報告

2022年2月2日（水）

報告：山口理恵子（城西大学）

yama-rie@josai.ac.jp

# スポーツは社会課題にどう対応できるのか？

## 【地域の課題】

- 人口減少、人口流出
- 少子高齢化による労働力不足（例：農業の後継者不足）
- 産業の衰退→就職先が見つからない→人口流出という悪循環



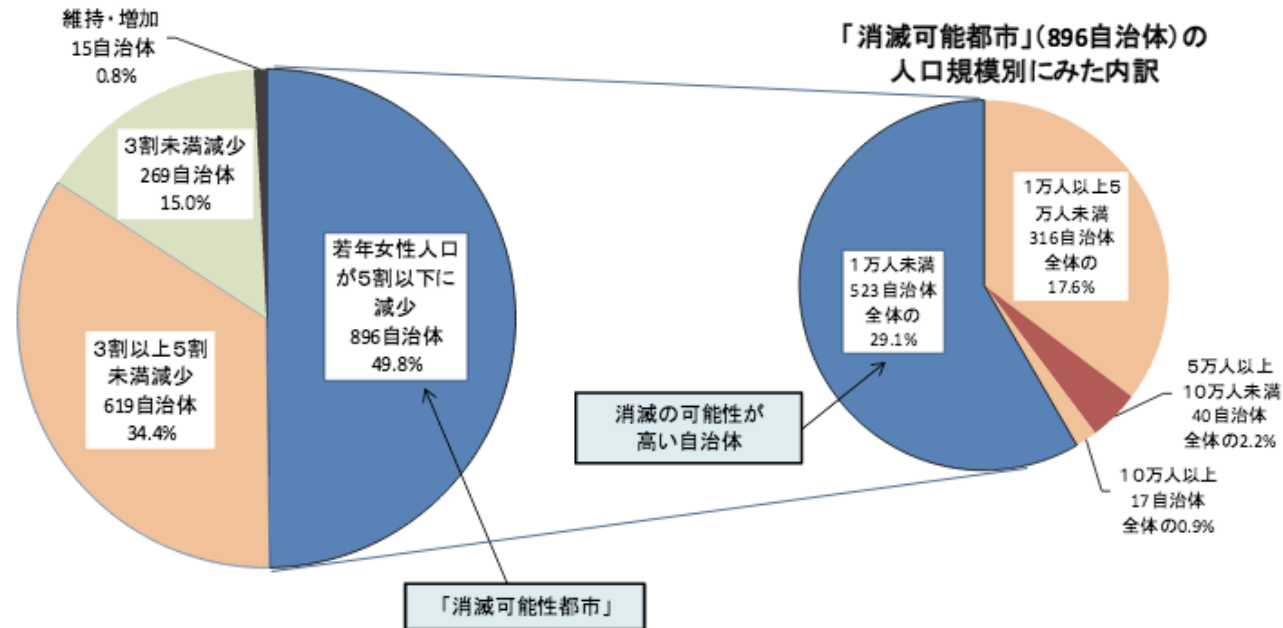
総合型地域スポーツクラブはなにができる？

# 若年女性の流出：日本創生会議「増田レポート」より

(2014年5月)

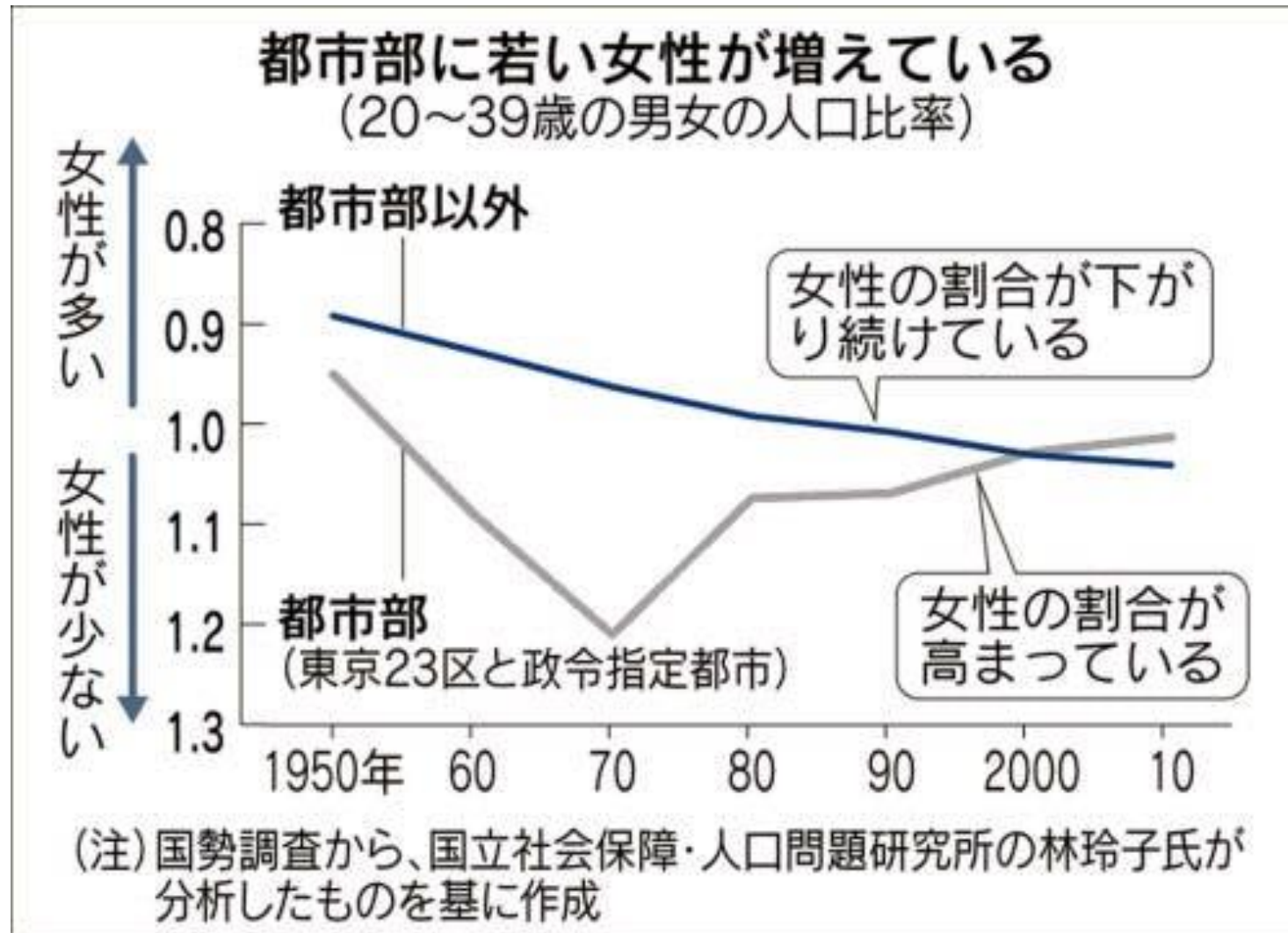
- 2040年に若年女性の減少により全国の896市町村（全体の49.8%）が消滅の危機に直面する

図表1 若年女性人口の増減率で分類した自治体の内訳（「消滅可能性都市」の構成比）



出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月推計)」をもとに、日本創成会議・人口減少問題検討分科会が試算

2000年以降、  
若い女性の都市部への流出が高まっている



# 調査対象の文献

1. 学術文献：CiNii\*およびJ-Stage\*\*において「男女共同参画」「ジェンダー平等」「女性活躍」のキーワードでヒットする記事

\*国立情報学研究所が運営するデータベース

\*\*文部科学省所管の国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム

2. 男女共同参画白書：平成13年度～

3. 日本スポーツ協会『Sport Japan』の総合型クラブに関する記事  
2012年から現在（Vol.1～Vol.56）まで

4. その他（『みんなのスポーツ』）

# 方法

- 1、3、4の文献に関しては、「男女共同参画」「ジェンダー」「女性活躍」等のキーワードを中心に検索。
- それらのキーワードが見つからない場合は、「女性」に関わる記事を抽出し、特徴を分析。
- 2に関しては、「総合型地域スポーツクラブ」の言葉を抽出。

# 1. 学術文献

[CiNii：国立情報学研究所が運営するデータベース]

- 論文タイトルに「総合型地域スポーツクラブ」が含まれる文献数：584
- そのうち、本文に
  - 「男女共同参画」の語が含まれる文献数：0
  - 「女性活躍」の語が含まれる文献数：0
  - 「ジェンダー」の語が含まれる文献数：0
  - 「女性」の語が含まれる文献数：2

# いずれも実態把握のための調査研究で 「男女比」を検討しているのみ

- 蒲原真澄ほか「総合型地域スポーツクラブ参加者のロコモティブシンドロームの実態と健康づくり支援の検討」『南九州看護研究誌』 9(1), 21-29, 2011
- 若居佐恵子ほか「総合型地域スポーツクラブにおける介護予防事業の展開の可能性を探る」『理学療法学Supplement』 2005(0), E1083-E1083, 2006 公益社団法人 日本理学療法士協会



# 1. 学術文献

- [CiNii：国立情報学研究所が運営するデータベース]
- 論文タイトルに「地域活性化」「スポーツ」が含まれる文献数：192
- そのうち、本文に
  - 「男女共同参画」の語が含まれる文献数：0
  - 「女性活躍」の語が含まれる文献数：0
  - 「ジェンダー」の語が含まれる文献数：0
  - 「女性」の語が含まれる文献数：1

(資料)

内田和寿、横山勝彦

「スポーツによる地域活性化：女性のスポーツ活動に着目して」

『京都滋賀体育学研究』第29巻第1号、2013年

### 【研究背景】

- スポーツ活動は地域活性化の資源であり、その活動の話し合いや意思決定の場は、スポーツ経験の有無や性別にとらわれない関係性が重要である。
- しかし、スポーツ組織や団体の意思決定には女性がほとんどおらず、地域のスポーツ活動においても女性の視点から環境整備が必要である（女性のスポーツを阻害する要因など）。

(資料)

内田和寿、横山勝彦

「スポーツによる地域活性化：女性のスポーツ活動に着目して」

『京都滋賀体育学研究』第29巻第1号、2013年

### 【研究目的】

- 「地域活性化が促進されない地域が抱える様々な問題について整理し、スポーツによる地域活性化を促進するための新しいアプローチ方法として、女性の地域におけるスポーツ活動に着目し、女性のスポーツ環境について検討する」
- 「そして、このことが地域の問題や地域スポーツの問題解決の一助となることを示していく」

(p.2)

(資料)

内田和寿、横山勝彦

「スポーツによる地域活性化：女性のスポーツ活動に着目して」

『京都滋賀体育学研究』第29巻第1号、2013年

- 「地域における女性のスポーツ活動」 (p.6-p.9)

→ 笹川スポーツ財団の調査 (2010) の女性のスポーツ実施率について (実施・非実施の二極化、年代別) 言及しているのみで、筆者らの「地域における」という言葉が何を指しているのか明確ではない。

### 【おわりに】

- 女性は個人スポーツを好む。スポーツ活動の選択肢も少ない。
  - 「人のつながりが狭くて閉鎖的な活動になりやすいことが危惧される」
  - 「女性のスポーツ環境を改善することは、地域のスポーツ活動をより多くの人々に開放することとなり、新しいスポーツネットワークの形成が期待される」 (p.9)

# 男女共同参画白書

## ◆平成13年版：

第2部「平成12年度に講じた男女共同参画社会の形成の促進に関する施策」に「総合型地域スポーツクラブ」の文言が登場

- 第6章 高齢者等が安心して暮らせる条件の整備
  - 高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の支援
- 第8章 生涯を通じた女性の健康支援
  - 女性の生涯にわたるスポーツ活動の推進



令和3年版に「総合型地域スポーツクラブ」の文言なし

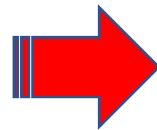
# 男女共同参画白書

- 平成28（2016）年以降：

「スポーツ分野における男女共同参画の推進」という文言が登場

平成27年まで

- ▶ 第11章 生涯を通じた女性の健康支援
  - ▶ 第1節 生涯を通じた男女の健康の保持増進
  - ▶ 第2節 妊娠・出産等に関する健康支援
  - ▶ 第3節 健康を脅かす問題についての対策の推進
  - ▶ 第4節 性差に応じた健康支援の推進
  - ▶ 第5節 医療分野における女性の参画の拡大
  - ▶ 第6節 生涯にわたるスポーツ活動の推進



平成28年から

- ▶ 第7章 生涯を通じた女性の健康支援
  - ▶ 第1節 生涯にわたる男女の健康の包括的な支援
  - ▶ 第2節 妊娠・出産等に関する健康支援
  - ▶ 第3節 医療分野における女性の参画拡大
  - ▶ 第4節 スポーツ分野における男女共同参画の推進

# 男女共同参画白書

- ◆平成30年：特集 スポーツにおける女性の活躍と男女の健康支援
  - ・平成29年3月：第2期スポーツ基本計画「スポーツを通じた女性の活躍促進」に準じた内容

## I 平成29年度男女共同参画社会の形成の状況

---

- ▶ 特集 スポーツにおける女性の活躍と男女の健康支援
  - ▶ 第1節 スポーツにおける女性の活躍
  - ▶ 第2節 男女の健康支援

オリ・パラアスリートの  
インタビュー記事

# 「Sport Japan」 (Vol.1～Vol.56まで)

## 【概要】

- 全体的に、「多世代」というキーワードは「子供」「高齢者」を、「インクルーシブ」というキーワードは「障害者」を含意していることが多い。
- 「男女共同参画」の言葉は皆無。
- 「女性」に特化した記事は、「子どもや地域のために動く女性」や「ママ」が多い。



クラブ名（所在地）	活動の特徴	男女共同参画の視点から
三重花菖蒲SC（鈴鹿市）2012.9-10.	ハンドボール日本リーグ女子に所属する3チームがクラブチームとして活動	
NPO法人佐土原SC（宮崎市）2016.3-4.	子どものスポーツサークル立ち上げから女性が中心となって立ち上げ・運営。	(+) 女性による行政への働きかけ (?) 男性理事+時間に余裕のある女性 (?) 人のお世話係
NPO法人エフ・スポーツ（福島市）2017.11-12.	女性が参加しやすいルールづくりなどの配慮。	
一般社団法人ボディジャンプ（名取市）2018.5-6.	育児真っ只中のママさん世代に力を注ぎ、ママさんたちが自分のために体を動かせる環境づくり。	(+) 同じ境遇の女性たちのコミュニティに
ライフスポーツクラブしんとね（稲敷市）2020.3-4.	クラブスタッフ9名中4名が女性。県内女性スタッフだけの交流会。	(+) 女性の横のつながりをパワーに
K-style（京都市）2021.1-2.	キッズチアダンスの保護者たちを対象に「ママチア」をスタート。	(+) 子育てを通じたスポーツコミュニティ (?) 子育てをしていない女性たちは？

# その他：『みんなのスポーツ』

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌 2021年8・9月号 (vol.476)

「特集 女性スポーツの現在と女性スポーツ推進委員の活躍」

## 【ほなみふれあいスポーツクラブ（山形市）】

- 平成19年：クラブ設立
- 平成21年度：総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業受託

## 【テーマ】

「女性のライフステージに応じたスポーツに親しむことができる環境づくり」

[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/sports/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2011/01/06/1298026\\_6.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/afieldfile/2011/01/06/1298026_6.pdf)

## 【特徴】

- 女性のスポーツ実施率向上
- 子育て世代をターゲット

# 結果と考察①

- 「男女共同参画」「ジェンダー」「女性活躍」のワードを含む総合型地域スポーツクラブに関する学術文献がほぼ皆無という結果から、研究者の中に、女性役員・リーダーの少なさや、女性の運動阻害要因等が課題として認識されていない可能性がある。

- 人口流出という地域の過疎化問題
- 女性のミクロな運動阻害要因

共にジェンダーの構造や規範が大きく関連していることが見逃されている可能性あり。

## 結果と考察②

- 「男女共同参画白書」で「総合型地域スポーツクラブ」の言葉が明記されてはいても、「Sport Japan」の事例記事を読む限り、各SCの重点施策になっているとは言えない。
- 事例記事より、「女性」に特化された取り組みではあっても、性役割分業を前提とする女性のあり方や「子育て世代」を対象とした取り組みがほとんど。

例：“世話好き母ちゃん”のいるクラブ、ママチア、「家事をちゃんとやって」など

## 結果と考察② 続き

- 多様な女性のあり方（未婚、障害者、外国人女性など）や、男性のジェンダー課題などは注目されていない。
- 「子育て＝女性」の範疇を超えていかず、むしろ女性が子育てをするものとする性役割分業を固定化してしまう。

## 結果と考察③

- 「国民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる」という文科省の理念とは異なり、スポーツができる、時間のある人、子育て期や子供のいる人に限定されてしまうような特徴が散見される。
  - スポーツ実践を中心に据えた取り組みは、地域課題は見えにくい。
  - 地域課題を中心に据えた上でのスポーツ実践の模索の必要性。